

ヤブミョウガ

Pollia japonica Thunb.

ツルクサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県では稀産の植物であることに変わりはないが、近年やや増加傾向にある。(現況:R+)

形態

本県に類似種はない。大型の草本で草丈50~100cmに達し、葉は5~6枚が茎の中ほどに密に互生する。葉の大きさは20~30cm、幅3~6cm。茎頂に生じる円錐形集散花序は、直径7~10mmの白色花の集りで、萼片は円形、長さ5mm前後で宿存、花弁は倒卵形で萼片よりやや長めである。雄蕊は6個、雄花では完全に長い、雌花では短い。地下には細い根茎がある。果実は青藍色で直径5mm。

国内分布

本州、四国、九州に分布。台湾と中国本土に分布。

県内分布

従来は能登半島、加賀中央区、南加賀区に分布していた。近年9産地からの確認の報告があったが、加賀中央区からはなかった。

生態など

花期は8~9月。

生育環境

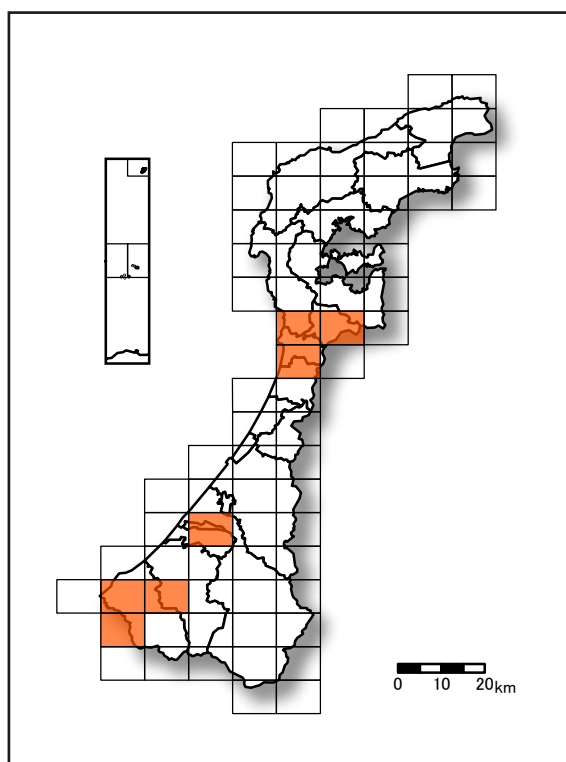
照葉樹林の林床、林縁に生育する多年草。

危険要因

森林伐採、草地開発、自然遷移、その他。



本多郁夫・2004年7月31日・金沢市



県内の分布